



令和8年7月27日発行 木屋保育所

☆暑中お見舞い申し上げます☆

今年は、梅雨明けも例年より10日近くも早く、子どもたちも汗をキラキラと輝かせながらも、毎日プールあそびをしっかりと楽しんでいます。
水分補給など熱中症対策を行いながら、元気に気持ちよく過ごせるよう環境を整えていきたいと思います。
まだまだ暑い日が続きますので、皆さまくれぐれもご自愛ください。
引き続きよろしくお願いいたします。



新しいお友だちです。
みんな仲よく遊ぼうね！



※10日(月) 身体測定

※15日(土) 手作り弁当の日
(今月は1日の弁当の日はありません。
15日に変更しています)

※17日(月) 避難訓練

今月のねらい

- ☆夏の生活の仕方を知り、元気に過ごす
- ☆約束を守って、プールあそびを楽しむ
- ☆夏の自然に親しみ、触れ合って遊ぶ



※水筒の中身は、朝から満タンでお願いします。
なくなった時は園で補充しています。

6/26日、プール開きを前に、子どもの溺水・水難事故を防止するため、消防署の方より、救命救急教室をしてもらいました。今回は、職員だけで、受けております。内容を簡単にまとめましたのでご確認ください。
保護者の皆様には、また来年、救命救急教室を行いたいと思いますので是非ご参加下さい。

【事故が起こりやすい場所】

☆0～3歳…浴槽 ☆5歳以上…河川・海・用水路といった自然水域
※子どもの溺水の3つの特徴…①「静かに」②「早く」③「浅くても」

【家庭での事故を防ぐために】

*乳児(0～1歳)

- ・入浴後は必ず浴槽の水を抜く。
- ・浴室扉に外鍵またはベビーゲートを設置し、子どもが単独で入れない導線にする。
- ・沐浴中は片時も目を離さず、電話や宅配対応で離れる場合は必ず一緒に浴室から出る。
- ・ベビーバスは大人の手の届く範囲に…バスチェアは「監視がわり」にはならない。

*幼児(2～5歳)

- ・家庭用プール・タライの水は使用后すぐに抜く。
- ・水場では大人が常に手の届く距離で監視する。
- ・監視役の大人はスマホを見ない、飲酒しない、読書しない。監視役を5～10分交代で回す。

☆くれぐれも水の事故には気をつけましょう。



イヤイヤ期は終わります

子どもの頭の中で起こっていること

脳科学的に見ると、イヤイヤ期は脳の前頭前野の未発達が原因です。前頭前野は、自分やほかの人の「心」などをイメージするところ。
イヤイヤ期の子どもは、自分と他人の区別はついても、まだ自分の心と相手の心の区別ができません。しかし前頭前野の発達が進む4歳ごろには、「みんなが待っているから順番を守る」というように、自分とは違う相手の心に気づけるようになっていくのです。

自分の心 = 相手の心



なんでわたしがやりたいのに
とろうとするの？